

# 活動報告——令和四年度

## ——令和四年度例会記録——

第一回例会（大会）四月十六日（土）

・金陵をうたう王安石 和田 英信

・中国語における「流水文」の研究

橋本 陽介

第二回例会 七月二日（土）

・民間文芸に継承された「舜子変」と、

そこから探る「舜子変」の欠損部について

大西 由美子

・謝朓詩における「慕婦」とその場所

董 子華

第三回例会 九月三日（土）

・明代の四川における提学官の実績について

陳 坤

・「拉壮丁」から見る沙汀一九三一年—

一九四九年の小説創作

潘 一嵐

第四回例会 十二月三日（土）

・凌叔華『中華児女』の日本人表象を再読する…松岡洋右との交流を参照軸として

阿部 沙織

・杜甫詩における混沌への憧憬

呉 優美子

・批評語としての「不可解」——明末清初の詩的言語論における一考察

水津 有理

◇令和四年四月十六日（土）に第四十一回大会をオンラインで開催した。大会終了後総会を開き、令和三年度の会務、会計報告を行った。

◇同日付で会誌『お茶の水女子大学中国文学会報』第四十一号を発行した。

卒業論文・修士論文題目

令和四年度三月卒業（九名）

- 赤澤 夏葵 日系企業への中国進出における現地化戦略  
伊田 茉尋 中国における生涯学習の現状と課題  
岡谷 夏子 『長恨歌』の主題に関する一考察―前半と後半の楊貴妃像に注目して―  
小澤 理桜 『聊齋志異』と『閱微草堂筆記』における狐女房譚の比較―作品分析を中心に―  
金岡 栞理 余華作品における女性観の変化についての研究  
上岡 妃香 中国語「給」の用法分析―日本語の授受表現と比較して―  
工藤 李紗 台湾の外国人向け教材における軽声の教授法の考察―中国語「普通話」と「台湾国語」における軽声の特徴に着目して―  
東野 うれは 中国におけるメイドカフェの現地化について  
藤富 奈津子 中国の国語教育の研究―人民教育出版社刊の新旧義務教育語文教科書八年級の比較を通して―

令和四年度三月修了（五名）

- 呉 越 半植民地都市におけるアイデンティティーの混乱―穆時英の「ピエロ」を中心に―  
趙 芷苑 現代中国語語気詞の疑問文未用法―「呢」啊」を中心に―  
李 可馨 二十世紀二、三〇年代における中国女性同性愛の性的描写―郁達夫『她是一个弱女子』を中心に―  
李 嘉玥 李賀詩における神仙の存在状態 西王母のイメージをめぐる  
陸 予婷 盛唐辺塞詩について―色彩を中心に―